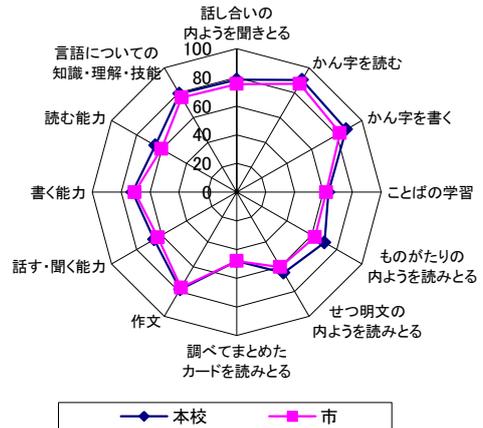


# 宇都宮市立今泉小学校 第3学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
問題の内容別	話し合いの内ようを聞きとる	78.5	75.4
	かん字を読む	90.4	87.2
	かん字を書く	87.5	82.5
	ことばの学習	63.6	62.0
	ものがたりの内ようを読みとる	70.2	62.5
	せつ明文の内ようを読みとる	64.9	60.3
	調べてまとめたカードを読みとる	48.1	48.0
	作文	78.3	76.8
観点別	話す・聞く能力	66.0	63.0
	書く能力	72.1	70.6
	読む能力	65.0	60.2
	言語についての知識・理解・技能	79.3	76.3



## ★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの内ようを聞きとる	・正答率は宇都宮市の平均を3ポイント上回る。「話の中心に気をつけて、聞くことができる」設問には、9割以上の正答率であった。しかし「話し手の考えの共通点を聞き取り、話すことができる」設問の正答率は66%であり、課題を残した。	・友だちの発言や発表をきちんと聞く態度を徹底する。また、メモを取ることを習慣化し、キーワードのとらえ方を指導する。
かん字	・正答率は市の平均を5ポイント上回る。第2学年でなかった「行く」「後ろ」の正答率が低い。	・授業時間内でしっかりと漢字指導をする。筆順を意識させながら丁寧に書くことを習慣化させる。復習テストなどを行いながら繰り返し練習させる。
ことばの学習	・正答率は市の平均を1.6ポイント上回る。しかし全体的に正答率は低めである。特に国語辞典の使い方の設問は42%の正答率で、課題を残した。	・国語辞典を日常的に使えるように、教室に常備する。国語の時間だけでなく、分からない語句は辞書を引くことを習慣化させる。
ものがたりの内ようを読みとる	・正答率は市の平均を2.5ポイント上回る。「登場人物の気持ちを読み取ることができる」設問の正答率は85%以上であった。「場面の移り変わりを読み取ることができる」設問には正答率が54%であり、課題を残した。	・継続して、音読指導を行う。授業では、物語の要約をしたり、場面のつながりを考えたりする活動を多く取り入れる。
せつ明文の内ようを読みとる	・正答率は市の平均を4.6ポイント上回る。「細かい点に注意して文章を読み取ることができる」設問の正答率は87%の正答率だった。しかし、「文章の要点に注意して読み取ることができる」設問には33%の正答率で課題を残した。	・説明文を読み取る際には、段落の内容をキーワードを落とさず短く要約する活動を重点的に取り入れる。
調べてまとめたカードを読みとる	・正答率は市の平均とほぼ同じである。「資料を比べて読み取り、適切な言葉を当てはめる」設問は特に低い正答率であった。	・複数の資料を比べ、同じところ、違うところを読み取ったり、それを文に表現したりする活動を繰り返し行う。
作文	・正答率は市の平均をやや上回る。「書こうとすることの中心を明確にして書くことができる」項目は93%の児童がクリアしていた。「二段落構成で文章を書くことができる」項目は50%しかクリアしておらず、課題を残した。	・短作文を書く機会を多くする。また、段落を意識した作文指導を行う。